

2021/07/07

和訳版(要約)

[ファイナル・レポート]

第 33 回 ミラノウニカはバイヤー来場社数(+29%)を記録

来場したバイヤーの社数は 3,100 社、内 570 社が海外からの来場(前年比 42%増)となった。

ミラノウニカ会長、アレッサンドロ・バルベリス・カニコ氏:「フィジカル展は製品の価値を見極めるために重要であり、その製品は五感の全てを通じてこそ理解し得るものであると考えております。対面での参加は又直接情報や意見交換を可能にし、そこから新たなプロジェクトへのインスピレーションが湧いてくるのだと思います。」

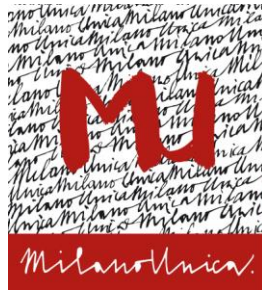
2021 年 7 月 7 日 - フィエラミラノ・ローに於いて開催された第 33 回ミラノウニカが閉幕しました。

出展者数は 270 社(内 224 社がイタリア企業、46 社が海外企業)となり、メンズ・レディス・子供服用ハイエンド向けテキスタイル・服飾付属品の 2022/2023 秋冬コレクションが発表されました。第二回目のロックダウン後に開催された今回のフィジカル展には 3,100 社(前年比+29%)が来場し、内海外からは 570 社となりました。(前年比+42%)。昨年 9 月と比べ特筆すべき変化は次の国々からの大幅な増加です: ベルギー & オーストリア(+200%)、スペイン(+164%)、ドイツ(+107%)、オランダ(+90%)、アメリカ(+56%)、フランス(+53%)。

ミラノウニカ会長アレッサンドロ・バルベリス・カニコ氏によるコメント:「現状はまだ平常には戻っていませんが、このシグナルは確かに励みとなります。国際的に不確実な状況が続く中、この来場バイヤー数は出展者の方々の確信が証明されたといえるでしょう。今回の結果はファッション業界の製造チェーンにおいても回復しつつある川下と比べ、今尚打撃を受けている川上層の状況回復に向けての励みになると確信しています。」

7 月 6 日に行われたオープニング・セレモニーにはミラノウニカ会長;アレッサンドロ・バルベリス・カニコ氏、ベイン・アンド・カンパニー(Bain & Company)のパートナー;クラウディア・ダルピツィオ氏、イタリア・ファッション国立会議所 会頭;カルロ・カパサ氏、システム・モーダ・イタリア会長;マリーノ・ヴァーゴ氏、イタリア産業総連盟の代表;レンゾ・ロッソ氏、イタリア経済開発相;ジャンカルロ・ジョルジュティ氏が参列しました。

ミラノウニカ会長の挨拶の後、全員が業界の将来やファッションシステム全体について活発に論議を交わしました。全員がポスト・パンデミックによって起こり得る有利な条件や危機的状況について語り、今後平常に戻るかもしれないが以前と同じにはならないであろうと述べました。又今後必要となる主なチャレンジとしてサステナビリティ、デジタル化及び更なる柔軟性を掲げ、テキスタイル・アパレル・ファッション界の製造チェーンに関わる企業間で更なる協業や戦略を持ってこの課題に向き合うべきだと語りました。ミラノウニカ会長は又「フィジカル展ではプロジェクトが生まれる場であり、そこから企業と顧客間の対話へと発展していきます。ですがデジタル化への挑戦を軽視すべきではありません。今迄以上にフィジカルとデジタルの世界が結合し業界の未来を形成していくのです。ですから創造性溢れる革新的な発信を目指し、テクノロジーを駆使し確信をもって将来への投資をしなければならない」と述べています。」と述べました。



ミラノウニカはオンライン・マーケットプレイス; e-MilanoUnica Connect を更に進化することにより、この新たなニーズに応え、言わばフィジカル展の域を超えた商談会として、参加企業の国際間のビジネス維持と継続を果たしました。これはパートナー; ピッティ・イマジンネとの協業の強化と伊・外務国際協力省及びICEによる多大なるサポートにより実現した成果です。

ICE会長であるカルロ・フェッロ氏は今日展示会を訪れた際次のように述べました:「今回第 33 回ミラノウニカの数字は出展者と来場者両者にとって、又この状況下においてイタリア以外からの多数の参加という面からも心強い回復を示しています。この展示会は6月半ばの規制終了以降にイタリアで開催された第9番目の国際展であり、これは正にワクチン・キャンペーンの成果、又主催者の勇気と国全体のシステムのサポートを示す重要なサインであります。特に世界的パンデミックの影響により最も打撃を受けたセクターの一つ; ファッション・製造チェーンにおいては回復への大事な段階へ入ったと見ています。」

そして今回もミラノウニカのトレンド・エリアにフィロの提供するサステナブル・ヤーンが展示され、ミラノウニカとフィロ(Filo)による相乗効果がみられました。

ジェネラル・マネージャー: マッシモ・モジエッロ氏は次のようにコメントしました:「フィエラ・ミラノとの協力体制によやバイヤー数人から直接寄せられた声からも全般的に展示会には満足であったことが証明され、我々の努力は報われました。世界的に不確実な状況の中で、このような成果のある商談が行えたことは実行委員会及び出展者自身による大胆な賭け; 確信と先見性を持って為された賭けの結果であると言えるでしょう。又この成果に貢献して下さった報道陣; 専門メディア、プレスの皆様に深く感謝致します。尚今回のイベント成功に向け、従来の経済支援及びプロモーション上のサポートを提供し続けて下さった伊・外務国際協力省及び ICE に対し深く感謝を申し上げます。」

ミラノウニカは伊・外務国際協力省、ICE、システマ・モーダ・イタリア及びミラノ市の後援に対し、又セツラ銀行、ラウレターナのスポンサーシップに対して心よりお礼申し上げます。

<詳細> Milano Unica Press Office (Tel. +39 02 6610 1105)

Alessandra Ardenzi (M: +39. 335.677.46.20)

Daniela Scardi (M:39 3661964979)

Sergio Vicario – Metafora (M: +39 348 9895170)